

長田下地域 振興会だより 第31号

2018年(平成30年)3月22日発行

平成29年度「ふれあい」発表会 2月17日 中長田集会所

前の週は連日の雪降り、更に13日には朝方15センチ積雪という寒波で、発表日の天候を心配しましたが、当日は晴天に恵まれ多くの方々に参加(60名弱)して頂きました。ご参加ありがとうございました。

9時半、迫会長の挨拶により長田下地域ふれあい発表会を開会しました。今回も創意工夫された絵画4点、手芸品6点、国宝・重要文化財の模写絵6点、戌年生け花、毛糸の帽子、ハートの壁掛け、写真『コンテナガーデン』を出展して頂き皆様に感謝申し上げます。

今回は、1月20日に行われた『青少年の声を聞く会』～伝えたい私達の思いを言葉に乗せて～に参加された長田下地域の子どもの貴重な発表内容も掲示させて頂きました。

ステージ発表では、当初申し込みのあった『さざんかの宿』の熱唱に始まり、地域の皆さんお馴染みの『向原音頭』を参加者全員が譜面を見ながら合唱したり、題目『宝船』を吟唱して頂きました。時間の余裕もあったことから、飛び入り参加を依頼したところ、総勢10人の方が歌ってくださり大変盛り上がりました。

続いて、和気あいあいと輪投げを2ゲーム行い、最高58得点の1位から44点の3位の方までを表彰しました。皆さんとても楽しそうに競技されていました。

それから、振興会女性役員が準備されたカレーライスを、参加者一同美味しくいただきました。お替りも続出で、なかには3杯の方もおられました。

最後は、ビンゴゲームを行って楽しいひと時を過ごして頂きました。

参加された皆様、そして、発表会に向けていろいろ準備された役員の皆様、本当にありがとうございました。

これからも、地域でお互いに声を掛けながら、元気で過ごしていきましょう。(担当K. M)



手芸品・模写絵



生花・絵画・写真・毛糸の帽子など



さあ、狙いを定めて輪投げ開始!



カレーライス準備中

青少年の声を聞く会

1月20日

今回は、長田下地域からちょっと目を転じて、今年の1月20日（土）の午後、向原生涯学習センター「みらい」で行われたこの会合についてお知らせしたいと思います。司会の福藤さん（向原高校生）の確かな進行で、小学・中学・高校それぞれ2名ずつの発表がありました。

この地域からは、中村悠吾さん（向原小学5年）が「将来の夢」として自身の学習で得た生物への関心から研究者になる夢を発表、また、益田慎之祐さん（向原中学3年）がニュージーランド報告を、児玉謙吾さん（向原高校1年）が人工甘味料検定の科学発表を行いました。

さらには、寺尾さなさん、細野風さんも「祭りだ・ソイヤ」（向原こぼと園）で日頃の練習の成果を披露しました。

その他、本町の若者達の「21世紀に生きる私の考え」を拝聴し、熟練の域を感じさせた勇壮な向原小学校「桜太鼓」、中学校「ソーラン」演舞などを見させていただき、少子高齢化の進む本町でも、元気に未来に向かって子ども、少年少女、そして青年達が活躍していることを肌身で実感できた有意義な会でした。 (T. K)



発表者への講評



発表者の表彰



中村悠吾さん表彰



桜太鼓の熱演

ありがとう、人間ホール 12月16日

「ほくの住む町向原は 何もない町だけど 広島と真ん中へそなのさ
じっちゃん ぼっちゃん 君と僕 みんなが輝く 町なのさ」

(ほくの住む町向原より)

この歌詞にあるように、私たちの町が誰でもが安心して暮らせる町になるようにとの願いを込めてスタートした「人間ホール」は29回目をもって閉じることになりました。

人間ホールによって、老若男女、障がいのあるなしに関わらず多くの人たちのつながりの輪が広がってきました。何よりも実行委員会としてかかわった方々の力添えがあったからこそ、ここまでできたのだとただ感謝感謝です。

しかし、すでに合併して十数年もたち、向原町だけのまちづくりというわけにもいかなくなりました。今後、安芸高田市を視野に入れた取り組みへと発展的に広がることによって、新たな町づくりが実現できるようお願いをのぞきます。

(B.T)



参加されたみなさん



ひとは福祉会オリジナル商品



商品販売中



オリジナルケーキ準備中

そば 「蕎麦祭り」・・・新しい行事の誕生

12月3日

現在多くの農村で、持ち主が耕作できない田畑の活用が大きな課題となってきました。長田六区でもこの問題が起きたのですが、この対応として蕎麦栽培を試みて2年が経ちました。地域住民の方の協力で田畑の耕起や蕎麦の植え付けを行い、刈り取りの後の収穫祭として「蕎麦祭り」を行っています。

蕎麦は管理が易しいとのことで始めたのですが、収穫は天候や土地の状態に左右されやすくその点は苦勞です。でも、この取り組みに関わる人の思いは「収穫は多いほどよいが、それよりも栽培での協働作業や祭りでの皆さんの集いの方が大切だ」とのことです。

祭り当日は、栽培を担った地元の方や子供会の参加、また安芸高田市地域営農課の方々や他地区の皆さんの参加、さらには中国新聞記者の取材などもあり大いに盛り上がりました。この祭りに向けては、地域外方も、元地域おこし協力隊の森本さんや白木町蕎麦店「ちょろぎ」の増本さんなどから蕎麦打ち指導の支援も頂いています。

今後は、内容面も参加面もさらに充実していきたいとの思いを企画者のメンバーはもっておられるようです。 (T. K)



「蕎麦祭り参加者」



「蕎麦刈り取り」



「畑の耕起」



「蕎麦栽培」・・・耕起した畑に播種します・子供さんも参加です



「蕎麦祭りイベント」・・・ゲームや焼き芋



「蕎麦祭り」・・・今年は蕎麦打ちとガレット焼きの両面活動

「長田下地域の文化財保護と伝承」について考える②

今回は、長田5区の旧真徳寺境内の裏山あたりに残っている「古墳群」について調べることにしました。

長田5区、6区には、古墳が多く存在すると聞いていたので、良くご存じの方にお願ひし、道案内をしてもらうことにしました。このたび、道案内をして下さったのは、保垣の井上沖彦さんで、中学校教師を退職後、向原町教育委員会で文化財の発掘調査などを担当された方です。「向原町内の古墳を約100基、調査して歩きました」と言っておられました。

井上さんの案内で、旧真徳寺の敷地を横切り、裏山を尾根づたいに登っていくと、次々と、古墳の盛土に行き当たりました。全部で5つの古墳がありました。これは「徳丸中古墳群」と名前がつけられ、1つ1つ白い杭が、古墳を囲むように、4本ずつ上下左右に、目印として打ち込んでありました。

「徳丸中古墳群」の古墳の特徴は、山の尾根につくられていて、丸く土を盛った円墳で、直径が平均して10m前後ありました。横穴式の石室があるそうですが、はっきりと分かるものは、わずかでした。石室の中をのぞくと、中には何もありませんでした。

その後、西側の尾根に移動して、「徳丸西古墳群」を探しました。小さな谷川に沿った尾根に、また5つの古墳が見つかりました。こちらの古墳は、ずいぶん傷んでいるものがあり、中には、大水に押し流されたような形跡もありました。この古墳も、徳丸中古墳と同じく、直径が10m前後の大きさの円墳で、同じように、白い杭が4本、目印に打ち込んでありました。

別の日に、内藤憲明さんに、茶臼山城の下の「徳丸古墳」を案内してもらいました。

この古墳は、円墳の直径が12mほどあり、横穴式石室のあることもはっきりと分かりましたが、土砂におおわれ、入り口は小さくなり、奥はくわしく見ることはできませんでした。「小さい時には、中に入って遊んでいたよ」と、内藤さんは言っておられました。徳丸古墳は、全部で3基あるそうです。今回は、一基だけ見てかえりました。

長田の古墳の中から、土器のかげらや錆びた刀が出たということは、昔、聞いたことがあります。資料館に展示するほどの物が出たとは聞いていません。しかし、身近なところに、千年以上も前の人々の暮らしの跡がはっきりと残っているのですから、感動してしまいます。

以前に、「振興会だより17号」でも、松尾古墳について書いていますので、参考にして下さい。

(F. T)

※写真は徳丸(東)・徳丸中・徳丸西古墳群の一部



長田下地域人物伝①⑥

～田槇 昭さん（6区）～

今、とても人気のあるグランドゴルフ（G.G）で活躍されている田槇 昭さんをご紹介します。

田槇 昭さんは、皆様もご存じの通り、長田下地域自治振興会設立の準備段階から中心的役割を果たされました。設立後も4年2か月にわたり副会長として尽力され、丁度10年前その役を辞されました。現在の振興会の基礎を作られた方です。

昭和7年、9人兄弟の末っ子に生まれ、体が丈夫だということで家（農家）の後継ぎにされましたが、戦時中はご飯もろくに食べられなかったそうです。

「現在はコメ余りの時代だが、いずれまた食糧難の時代が来るのではという思いで一生懸命コメ作りをしてきたが、寄る年波で農機具を使うのもむづかしくなった」と言われていました。また、世話好きな方で、これまでもずっと地域のためにいろいろな面で頑張っておられています。老人会の会長をはじめ、仏教壮年会の会長など数多くのお世話をしてこられました。

G.Gにかかわったのは、平成8年広島市水道局を退職された、その翌年に向原町に初めてG.G同好会ができ、入会したのが始まりだそうです。数年して会長になり、安芸高田市体育協会のG.G部長も兼ねることになりました。

そして、広島県G.G協会より安芸高田市で初めて「二級指導員（ゴールド指導員）」に推薦され、現在に至るそうです。なお、「二級指導員」は、今でも市内で3人だけだそうです。

「80歳を過ぎて心身ともに元気でいられるのはG.Gのおかげです。仲間とわいわいがやがや楽しく過ごす時間は何ものにも代えがたい。」と言っておられました。そして、最後に「皆さん！G.Gをしましょう 認知症の予防に最高です」と。

田槇さん自身言われていましたが、80歳を過ぎても本当にお元気で、笑顔がとても素敵でした。

これからもお元気で、G.Gで地域を盛り上げ、皆さんを楽しませてほしいと思いました。

(Y.H)



【自主防災情報】 天気予報で使われる1日の時間用語をご存知でしょうか。

- 未明（0時～3時）
- 明け方（3時～6時）
- 朝（6時～9時）
- 昼前（9時～12時）
- 昼過ぎ（12時～15時）
- 夕方（15時～18時）
- 夜のはじめ頃（18時～21時）
- 夜遅く（21時～24時）
- 昼頃（9時～15時）
- 日中（9時～18時）
- 夜（18時～24時）